

助成者	成瀬 悠	活動期間	2025年4月～2028年3月（予定） 活動中
所属機関	特定非営利活動法人 ハロハロ	職 名	理事・事務局長

ボホールの孤島でのごみ削減による持続可能な海藻栽培への挑戦

～学び合いの場を構築し、環境アクションを共に～

【活動場所】 フィリピン ボホール州 アルマー島

【事業目的】 水や生態系に悪影響を及ぼす可能性の高いマングローブ林奥の堆積ゴミの回収処理を進め、堆積ゴミの半数を占める海藻栽培のプラ紐を無くすべく、脱プラ海藻栽培のモデル事例を育成し、持続可能な海藻栽培に挑戦する。また、この活動を記録に収めオンラインで日本とフィリピンを繋いで環境課題と取り組みを学び合う場を構築し、一人ひとりがゴミ削減など身近にできる環境アクションを設定して取り組む仲間を増やしていく。



堆積ゴミの様子

【活動内容】

- (1) マングローブ林奥の堆積ゴミ回収を現地住民グループと共に取り組む
- (2) プラスチックを使わない海藻栽培へ移行
- (3) 日本とフィリピンをオンラインで繋ぎ、環境アクションを共にする学び合いを実施

【活動計画】

- (1) 日本の専門家と現地協働団体ASFAによる堆積ゴミ回収を持続的活動にするための協議、住民との堆積ゴミに関するワークショップの開催、堆積ゴミ回収（月2回）、堆積ゴミ分別（年2回）、堆積ゴミ運搬（年1回）、行政へのロビイング活動
- (2) プラスチックを使わない海藻栽培へ専門家を交えた島民とのワークショップを開催、新たな海藻栽培スキーム（ルール）の作成、モデル農家20を選定しパイロット活動を実施（2年目より、毎年10農家ずつ）
- (3) 日本とフィリピンをオンラインで繋ぎ、フィリピンの活動映像を見ながら環境の勉強会と意見交換会を実施。「今日からのゴミ削減アクション」を参加者が設定および実践し、発表を通じて学び合う。



海藻栽培で利用しているプラスチック紐と発泡スチロール